

毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

議会だより

発行/毛呂山町議会
編集/毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBRY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



祝
第60回
毛呂山町成人のつどい

12月の定例会

年頭のあいさつ・委員会発議	2P
指定管理者の指定	3P
条例の制定	4P
条例の一部改正	5P
補正予算・審議結果	6P
一般質問	7～13P
人事・議会の動き	14P

成人のつどい(東公民館)

平成28年2月1日発行

第 91 号

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

12月議会 定例会

平成27年12月定例会は、12月1日から11日まで、11日間の会期で開催されました。今議会に提案された案件は、条例の制定1件、条例の一部改正5件、補正予算4件、指定管理者の指定2件、人事2件、諮問1件、委員会発議1件、合計16件が上程され、慎重なる審議をいたしました。なお、今議会における一般質問は12名が登壇し、活発な質問が展開されました。

年頭あいさつ



議長
堀江 快治

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては平成28年の新春をつつがなくお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中はご厚情を賜り、議員活動に精励できましたこと心から御礼申し上げます。

昨年は茨城県常総市で鬼怒川の堤防が決壊し、多くの被害をもたらしました。異常気象も然りですが、私

たちを取り巻く環境は年々厳しくなっています。地方行政におきましても社会保障費の増大、少子高齢化、人口減少など問題が山積し、行政の真価が問われています。

そのような中、8月には瀬戸大也選手がロシアアカザンでの世界水泳400m個人メドレーで自己ベストを更新して優勝しました。誠に晴れがましい事です。瀬戸選手は毛呂山町の観光大使にもなられ、今年も益々のご活躍を祈念いたします。

結びに、本町議会は町民の皆様が幸せに暮らしていけるよう最大の努力を積み重ねる所存です。本年も皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。お祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新たに予算決算常任委員会 発足

委員定数 12名(議長・議会選出監査委員を除く)

予算決算常任委員会



委員長

小峰 明雄



副委員長

荒木かおる

- 《委員》
- 下田 泰章
 - 平野 隆
 - 澤田 巖
 - 牧瀬 明
 - 弓田 茂樹
 - 佐藤 秀樹
 - 千葉三津子
 - 村田忠次郎
 - 高橋 達夫
 - 長瀬 衛

発委第3号
毛呂山町議会委員会条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

議長より常任委員会などの委員会審査のあり方について、議会運営委員会に諮問があり、調査研究を行った結果、予算、決算の審査については、新たに予算決算常任委員会を設置し、今までの分割付託から、全体会として審査することが適当である旨を答申し、毛呂山町議会委員会条例の一部改正を行うことになりました。

○主な改正内容

- ◆常任委員会に新たに予算決算常任委員会を設置する。委員定数12名
- ◆議会運営委員会の委員定数を6名から7名に改める。

議会運営委員会

新たに委員が選出されました。

《委員》 小峰 明雄

指定管理者の指定

山根荘の指定管理者が、連合寿会から 社会福祉法人毛呂病院へ

議案第68号
毛呂山町老人福祉センター山
根荘の指定管理者の指定に
ついて
(全員賛成可決)

○指定管理者となる団体
社会福祉法人毛呂病院

○指定の期間
平成28年4月1日から
平成31年3月31日まで

○指定の理由
高齢者施設を数多く運営し、
高齢者の健康や介護予防に積極
的な考えを持った地域の大規模
な社会福祉法人であり、医療や
介護の専門職による健康増進等
の実施や、安定した施設・管理
が期待できるため。

討論
賛成します！

小峰 明雄 議員

3期9年間NPO法人毛呂山

町連合寿会が、安全で安心な施設運営にご尽力いただき、その間、管理料を同額のまま運営をいただいたのは、経営努力の賜物といえるものです。

これからの3年間、地元地域の医療・介護を担う社会福祉法人毛呂病院を指定管理者とすることは、随意指定の理由にもあるように、高齢者の心身の健康に対する自主事業の実施が可能であること、法人内の各種専門職員による健康意識を高めたこと、安心感を提供できる各種事業を行うことができる等のことから、安心して施設運営を任せられる管理者であると考えられます。以上の理由により、賛成討論と致します。

毛呂山町立図書館 毛呂Bookに再指定

議案第69号
毛呂山町立図書館の指定管理者の指定について
(賛成多数可決)

○指定管理者となる団体
NPO法人毛呂Book

○指定の期間
平成28年4月1日から
平成31年3月31日まで

○再指定の理由
適正な図書館の運営だけでは
なく、毛呂Bookがこれまで
築き上げてきた地域とのつなが
りによる独自の図書館運営を高
く評価したため。

討論
賛成します！

小峰 明雄 議員

2期6年間の指定管理業務を受託した毛呂Bookは、図書館法に基づき、その健全な発展に努めるとともに、住民サービ

スの向上においては、利用者の視点に立った親しみやすい図書館とするため、単なる図書館資料等の収集・貸出のみに止まらず、図書館機能を最大限に発揮する形で、多様な事業を実施しております。

また、児童・生徒の読書活動を推進するため、読み聞かせや移動図書館の実施、本の帯コピーライター賞の創設等は、今後とも継続すべき事業であります。以上のことを踏まえ、知の拠点として、また、地域に根ざした独自の図書館活動の充実を期待し、賛成討論と致します。



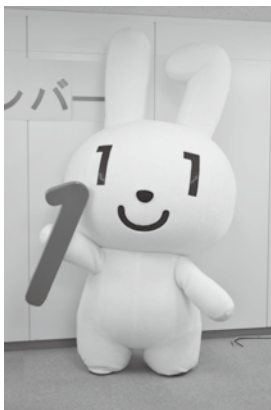
条例の制定

議案第58号

毛呂山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例
(賛成多数可決)

要旨

マイナンバー法に基づく特定個人情報の提供について必要な事項を定める条例。委員会に付託となり、総務文教常任委員会での審議を経て本会議にて可決となりました。



討論 反対します！

岡野 勉 議員

マイナンバー制度についてはこれまで何度となく、反対を表明してきました。本町では現時点で約1500件の不在、中には拒否があり。その後に役場への受け取りが250件です。この受け取りは労働現場では事業所からの給与支払い時のマイナンバーの照会が求められるため不在は徐々に減少するでしょう。しかし決して心から賛成したものではありません。現状では町民の大切な情報がセキュリティ、技術面からも不安であり、拙速な対応は厳に慎むべきです。



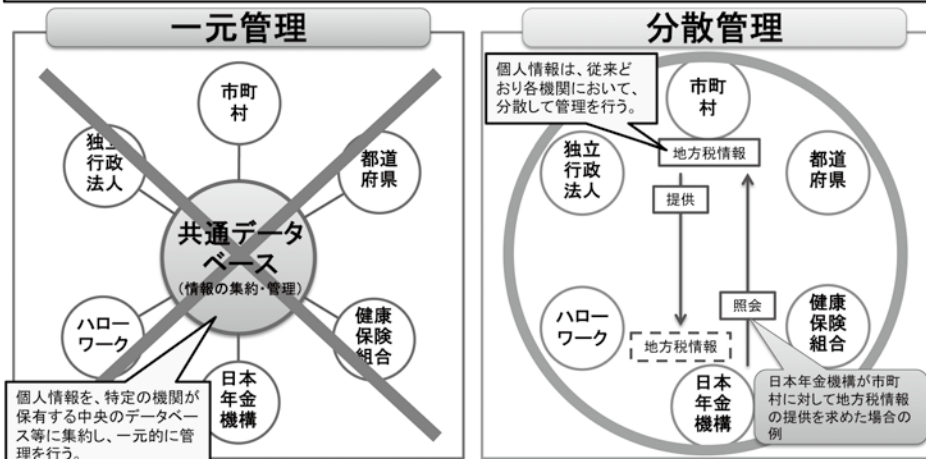
委員会での質疑応答

- 問** 発送したマイナンバーの通知カードが町に戻ってきた件数は。
- 答** 12月4日の時点で1417件。
- 問** 個人カード申請の送付先はどこになるのか。
- 答** 市町村の委託先である地方公共団体情報システム機構、通称J・LISが送付先になる。J・LISが通知カード、個人カードの作成業務をしている。
- 問** 個人情報のセキュリティの関係は。
- 答** システム運用上のアクセス権は国あるいは地方公共団体の専用回線を使い、一括管理でなく分散管理している。セキュリティは万全を期する。
- 問** マイナンバーを使用した時に、使用者の名前は分かる仕組みか。
- 答** 誰がいつどのくらい利用したのかという記録データが残る。

- 問** この条例以外でマイナンバーを利用したい場合も使えるのか。
- 答** 条例化されているもの以外で個人の情報を利用する場合、その都度本人の同意が必要になる。
- 問** インターネット上で自分の個人情報のやりとりの記録が確認ができるマイナンバーの運用は。
- 答** 条例施行より1年遅い平成29年1月より運用開始予定。

マイナンバー制度における個人情報の管理(分散管理)

- 番号制度が導入されることで、各行政機関等が保有している個人情報を特定の機関に集約し、その集約した個人情報を各行政機関が閲覧することができる『一元管理』の方法をとるものではない。
- 番号制度が導入されても、従来どおり個人情報は各行政機関等が保有し、他の機関の個人情報が必要となった場合には、番号法別表第二で定められるものにより、情報提供ネットワークシステムを使用して、情報の照会・提供を行うことができる『分散管理』の方法をとるものである。



条例の改正

議案第59号

議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

要旨

共済年金が厚生年金に統合されることに伴い、年金たる補償と年金たる給付の併給調整の率等を改めるもの。

議案第60号
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

要旨

給与制度の総合的見直しの実施に伴い、現在6級制の給料表を7級制に改めるもの。

討論
賛成します!

佐藤 秀樹 議員

行政改革により職員数が大幅減となつてい一方、地方分権社会の推進により行政事務は過去とは比べものにならないほど負担が大きくなつてきており、次世代を担う子供たちが安心して暮らしていただける行政を進める為には、身の丈にあつた行政運営及び給与体系が必要と思ひます。本町の職員は町の大切な財産であり、今後職員を育てる人材育成や職員の希望・専門性、適材適所の人事配置を実施し、限られた財源の中で住民サービスの上昇が図られることをお願いし賛成討論いたします。

下田 泰章 議員

職員の皆様方には、給料表を7級制に改める事で、仕事に対する目標値を増やし、やる気やモチベーションの向上につなげて頂き、それが更なる住民サービスの底上げに大きく反映する事と、私は多大なる期待を致しております。今後、

多くの住民がこの町に住んでいてよかつたと思えるような、魅力ある町づくりを目指して頂き、住民が安心・安全に暮らせる協働の町づくりの為に、更なるご努力を期待いたしまして、私の賛成討論と致します。

議案第61号
毛呂山町税条例の一部を改正する条例
(賛成多数可決)

要旨

地方税法の一部が改正されたことに伴い、徴収にかかる猶予制度の見直し、行政手続における通称マイナンバー法の利用等に関する法律の施行に伴う既定の整備等と定めるものなど。

討論
反対します!

岡野 勉 議員

マイナンバー制度は平成28年1月からスタート。税務・社会保障・災害対策分野の行政手続きから始まる

ものと思ひます。しかし、一向に国にとつての利便性は増すものの私たち国民・町民にあつてその優位性は感じられません。その逆で、子どもから高齢者まで番号12ケタで管理され、安全・安心な情報のセキュリティ、保管からも不安が付きまといまふ。

国民一人ひとりの大切な情報(生活)を国の充分な周知も無く、「二か八か」で扱われてはたまりません。

議案第62号
毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

要旨

国民健康保険税の医療分均等割額を引き下げるもの。

討論
賛成します!

岡野 勉 議員

毛呂山町の国民健康保険税・均等割額は3万5千円と県内で最高額にあり、引

き下げの要望は町民から、そして多子世帯の家族からも粘り強く、訴えられてきました。

この切実な声に議会でも常任委員会ははじめ何度となく引き下げの主張が訴えられ、平成26年3月議会で町民からの請願が採決され、ここに条例提出の運びとなりました。引き下げ額については、もう一步の気持ちもありませんが、これまでの町・国保運営協議会の討論を尊重し、賛成とします。

議案第63号
毛呂山町介護保険条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

要旨

介護予防・日常生活支援総合事業について、早期に着手することにより、事業費が有利となるため、施行期日を改正した。

補正予算

一般会計(第3号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4767万9千円を減額補正し総額を1億4901万7千円としました。

○主な内容

職員の給与制度の総合的見直し及び指定管理者(老人福祉センター管理運営業務・図書館管理運営業務)の更新など。

(全員賛成可決)

国保特別会計(第2号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億1630万4千円を減額補正し総額を52億9622万2千円としました。

○主な内容

歳入において、保険給付費支払基金を取り崩さずに積み立てておくため、保険給付費支払基金を減額しました。

(全員賛成可決)

水道事業会計(第2号)

収益的支出合計額は、666万円を減額して7億5248万6千円となり、損益勘定では3669万4千円の純利益。

資本的支出合計額は、10万6千円を増額して4億7168万9千円となり、収入額が支出額に対して不足する額(補填額)は3億775万4千円。

○主な内容

職員の給与制度の総合的見直し及び職員の異動などによる過不足調整のための補正をしました。

(全員賛成可決)

介護保険特別会計(第2号)

歳出予算の組み替えを行いました。

○主な内容

介護予防・日常生活支援総合事業に係る科目を設定し、関係する予算の組み替え等を行いました。

(全員賛成可決)

議案の審議結果(12月定例会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 欠は欠席 議は議長

議案	議員名													審議結果		
	下田 泰章	平野 隆	澤田 巖	牧瀬 明	弓田 茂樹	佐藤 秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛		堀江 快治	
58	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	討	○	○	○	議	可決
59	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
60	○	討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
61	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	討	○	○	○	議	可決
62	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
63	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
64	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
65	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
66	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
67	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
68	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
69	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
70	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
71	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
諮問3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申適任
発委3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 小峰 明雄議員 ①教育・子育て環境の充実
②観光施策
③女性活躍推進法
④公会計の整備促進
- 平野 隆議員 ①ふるさと納税
②農業問題
③学校の現状
- 佐藤 秀樹議員 ①防火地域
②空き家対策
③地方分権改革に対する今後の対応
- 下田 泰章議員 ①防犯灯と街路灯
②消防団と役場職員の割合数
③観光大使
- 弓田 茂樹議員 ①スポーツ・レクリエーション施設
②企業誘致
③職員給与
- 荒木かおる議員 ①もろバス
②災害廃棄物処理計画
③学童保育所
④安心安全なまちづくり
- 千葉三津子議員 ①高齢者の支援対策
②排水路の整備対策
③自転車の安全利用対策
④児童生徒の健康管理
- 村田忠次郎議員 ①川のまるごと再生プロジェクト
②大雪への対策
- 牧瀬 明議員 ①国保
②子育て福祉
③財政
- 高橋 達夫議員 ①平成28年度予算編成
②町の財政
③職員の処分
- 澤田 巖議員 ①観光
②未婚率への対応
③教育
- 岡野 勉議員 ①毛呂山の教育
②もろバスの運行

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載しました。質問順は抽選により決定されます。

議会を傍聴しませんか!

議会定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)開催されます。

詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

役場議会事務局 ☎049(295)2112 内線411

桂木ゆずPR配布

12月11日及び1月18日、川越駅にて毛呂山町の特産物PRキャンペーンとして桂木ゆずの配布を行いました。

毛呂山町のゆずは、江戸期からの伝統を引き継いで、昭和初期には「桂木柚子」というブランドで東京市場に盛んに出荷されており、日本で最古の産地のひとつといわれています。

観光大使のサスケさんらと一緒に桂木ゆずを配布、大盛況で多くの方に喜んでいただきました。





児童・生徒の教育環境の整備は必要！

格差解消・毛呂山中学校 大規模改造工事は

平成28年度、2期工事を予定

小峰 明雄 議員

- 問** 平成28年度の当初予算編成、教育費の内、小・中学校費・幼稚園費は。
- 答** 毛呂山小学校体育館の大規模改造工事・学力向上支援員の配置・中学校の自転車を使用する生徒の安全対策の充実・食物アレルギー対応・私立幼稚園就園奨励費補助事業等を予定。
- 問** 平成28年度の当初予算編成、本町の特色のある少子化対策・子育て支援対策は。
- 答** 第3子以降に出生祝い金の支給・子ども医療費支給事業・おたふく、B型肝炎、ロタウイルスの予防接種費用の半額助成・2歳児歯科健診では、フッ化物を活用した虫歯予防・不妊治療費用の一部助成等を予定。
- 問** 平成28年度の当初予算編成、商工費の内、観光費は。
- 答** 観光ガイドマップの多言語版を検討。ブランド化を進めております「桂木ゆず」のPR・観光協会への補助・滝ノ入口・ズガーデンや流鏝馬まつりなど各地区、各団体で開催されている観光事業への支援を考える。
- 問** ハブステーションと位置付けた総合公園、当初予算に計上した整備を、私は考えますが。
- 答** 今後必要とされる対応に、順次取り組んで行く所存。
- 問** 平成29年度までに、統一の基準の新公会計制度を導入。
- 答** 平成28年度中にシステムの改修を予定。
- 問** 花蓮広場の景観の向上を、はかるため、老朽化したプール施設の一部撤去を考えている。
- 問** 以前に一般質問した宿谷ハイクング道と木橋の架け替えは。
- 答** 1級河川・砂防指定地のため、調査検討を行っております。
- 問** 女性の職場における活躍を推進する、女性活躍推進法が平成27年9月4日公布、ご所見は。
- 答** 女性の職場における活躍を

ふるさと納税の現状は

町特産品の進呈を開始したところだ

平野 隆 議員

- 問** 昨年までのふるさと納税の現状について伺います。
- 答** 平成20年度にふるさと納税制度が開始されて以来、寄附者の増加を図るため、色々と取組みをした中で本町においては、本年10月1日から寄附していた「ふるさとチョイス」に情報掲載しPRをしており、寄附件数が飛躍的に伸びている状況であり、今後は「ふるさとチョイス」上での申込みや、クレジット決済ができるようにするなどして寄附者のさらなる増加を図ってまいりたいと考えている。
- 問** 今年の4月から確定申告なしでふるさと納税できるようになったが、町への数字的な現状はどうか。
- 答** 「ふるさと納税ワンストップ特例制度」についてですが、この制度がどれだけ影響を与えるのか検証していくことは困難だが、制度の普及に努めているところだ。
- 問** 農業問題について
- 答** 耕作放棄地の現状は。町には46ヘクタールの耕作放棄地があり、中には雑草や雑木が茂り、復旧の難しい土地もある。
- 問** 町の農業支援策は。
- 答** 農業経営を始める方に新規就農支援事業を進める。
- 問** 学校の現状について
- 答** 登校困難児童生徒が増えているが対応は。
- 答** 不登校相談員、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーなどで対応。

進呈品の一例





早急に空き家の再利用を！

平成28年度中に

支度金制度を！

平成29年度から実施できるように
鋭意準備いたします

佐藤 秀樹 議員

空き家対策

問 空き家対策に対し平成27年9月以降の進展また協議された内容は。

答 今後、町に存在している空き家の実態調査、有効活用する上でのニーズ調査を行い、支度金制

度につきましては、平成29年度以降の実施を予定しております。

問 秩父市の空き家バンクには平成22年度より556人の利用登録者が存在するように、早急に対策を打てば定任促進にもつながる。平成29年度以降では実施が遅い。何とか平成28年度中

に支度金制度の実施を望む。いまこそ地元不動産と建設業界と役場が協力し合う事が協働の町づくりと思うが。

答 人口減少問題は町の重要課題であり、定任促進の施策は早急に対応していく必要がある。また町と民間が連携しての空き家対策は町も同じ考えであり、支度金制度につきましては、平成29年度から実施できるように鋭意準備していく所存です。

問 地方分権改革に対する対応

答 地方分権改革に伴い責任と仕事量が増えることに対する今後の対応と職員の人材育成をどう

のように考えているか。

答 人材育成基本方針に基づき、職員を育てる観点からの人材育成の推進、適材適所の職員配置に努めます。

問 人材育成には財源が最大の課題であり、合理化を図り、予算を確保し人材育成に充てる事が重要と思うが如何か。

答 近隣の市町と情報を交換しながら積極的な人材育成を図っていきます。

主張 もう一つ考えなければならぬのは適材適所の人事配置であり総合職と専門職の導入も検討して頂きたい。

商店街・工商业者の街路灯 維持管理費の負担軽減を！

設置の経緯から難しい

下田 泰章 議員

問 近隣市では、商店街街路灯電気料金を50%負担しているが、毛呂山町においても可能か。

答 現時点ではすぐに要望に応えるのは難しい。

問 町では防犯灯のLED化を進めているが、同様に街路灯もLED化にする事によって、出

資者の方々の電気料金を軽減出来る。段階的に予算立てをし、順次LEDに交換するお考えは。

答 民地内の個人所有物であることや、設置の経緯から商工会と協議してまいりたい。

問 消防団と役場職員数について
現在毛呂山消防団の1つの

分団内では、役場職員兼消防団員が半数近くを占める团もあるが、いざ災害が起きた時に、消防団員を兼務している職員はどのように対応するのか。

答 基本的には町職員として災害応急対策などの業務を優先して行う考え。

問 役場内の一部の課では、団員数が多い課もあるが、今後の人事異動などで、偏りのない職員配置は可能か。

答 今後は検討してまいりたい。

問 観光大使について
先に任命された大使の皆様と今後具体的にどの様な取り組み

みを行うのか。

答 大使ご自身のソーシャルネットワークを利用した町の情報

発信や、メディアに出演された際に町の魅力等をPRしていただきたいと考えている。



防犯灯同様に価値ある街路灯へ補助を！



電源利用の出来ないスポーツ施設

スポーツ健康都市宣言の町に恥じない環境整備を

出来るだけ早く、対応していく

弓田 茂樹 議員

- 問** 本町が管理されている施設の中で電源利用の出来ないグラウンドはどこか。
- 答** 岩井グラウンドと目白台グラウンドの2施設となります。
- 問** 平等な利用環境は必要ではないか。
- 答** ハンドマイク等を無料で貸出す等により対応している。
- 問** この2施設は、主にスポーツ少年団が利用している。オリンピック選手をこの毛呂山町から更に排出するためにも、バッテリーマシンも使用できない状況。
- 答** 東南部2地区における企業誘致の進捗状況は、残り1区画が交渉中であり、近いうちに全て埋まる予定。南部地区において、誘致企業との条件がなかなか合致せず、進展していない状況。
- 問** 新たな誘致エリア指定について、既存エリアが埋まらなると、次期エリア指定ができないものなのか。
- 答** 町規則で上限を20haと定めている。既存エリアが埋まらなくとも、残り7・4ha分は指定可能であるが、農地法や土地所有者の意向等の関係上、面積の猶予は直ちに新たなエリア指定というわけにはいかない。
- 問** 以前、新聞等で不適切な特殊勤務手当の支給事例が批判されたことがあったが、本町での実態は。
- 答** 適正に支給を行っている。

児童の安全のため川角学童保育所の整備を

できるだけ早い検討・設置を進める

荒木 かおる 議員

- 問** 共働き家庭やひとり親家庭が増加しているなかで、学童保育所の整備は社会的な課題となつています。本町の川角学童保育所は定員以上の児童が利用されております。今後、町としてのどのようにお考えかお伺いいたします。
- 答** 平成27年11月1日時点の登録児童数は川角小57名、光山小36名で定員60名をはるかに超え、場所的にも両小学校からの距離も長く通所に時間がかかっている。児童の安全確保と良好な保育環境の早期整備に努めて参ります。
- 問** 現状の川角学童の狭あいと安全性を考えると川角小学校と光山小学校単位で分離するべきだと思いますが何如か。
- 答** 理想的には学校単位が好ましいと考えている。
- 問** 川角学区に学童保育所へ早期実現に向けての課題は何か。
- 答** 教育委員会サイドとの協議が大前提。空き教室、敷地内のスペースの調査をし現状把握が必要。
- 問** 川角小の児童数は今後も横ばい、あるいは増加傾向ということから、早急に整備を進めるべきと思うが何如か。
- 答** 川角学童の整備は児童の安心安全を考えると、町としても大きな課題。できるだけ早い検討、できるだけ早い設置を進めて参ります。
- 問** 県では誰もが出歩きやすく、地域とつながりやすい町を目指し、官民が連携した事業「バス待ちスポット」、「まち愛スポット」という2つの取組みを実施しているが本町も登録し事業に参加しては何如か。
- 答** 本町も公共施設から登録をし、進めて参ります。



児童の安全のため学童保育所を学校区で分離を



早急な排水路の整備対策を！

豪雨で床下浸水の危機(町道第33 11号路線)、排水路の見直しを！

本年度中に工事を実施する！

千葉 三津子 議員

排水路の整備対策

問 台風の豪雨により町道第3311号路線が溢

水し床下浸水の危機に見舞われた。住民の安全と財産を守る為にも抜本的な排水路の見直しが必要と思うが如何か。

答 一ヶ所に集中しないよう排水路の分流による対策を検討し本年度中に工事を実施する。

児童生徒の健康管理

問 児童生徒の健康は学力や豊かな心を支える土台として重要な子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、基本的な食習慣が身につけていないなど偏った食事が懸念される。健康維持は食と運動が重要と思う。そこで体力向上の取組みを伺う。

答 体力向上推進委員会を年3回実施し、健康に係る諸調査の分析や体育授業の充実を研究。又、小中学校体育連盟が運動量や授業規律又生涯を支える体づくりの授業研究会を実施し体力向上を図っている。

問 健康的な食生活を送れる人を育てる食に関する指導は。

答 小中学校を通し、各教科、学級活動、道徳及び児童会・生徒会活動で食に関する指導を行う

っている。

問 学校給食の食べ残しの変化等の調査及び児童生徒・保護者からの評価の具体的な聞き取りは行っているのか伺う。

答 食べ残しの変化は、毎年1校選定し実施し、評価についてはPTAの試食会終了後アンケート調査を実施し、食べ残しの多い野菜を人気メニューのカラーに入れるなど工夫をしている。**要望** 児童生徒が抱え直面している様々な心と身体の健康課題に適切に対処する為にも学校の教育活動と家庭保護者の更なる連携を願う。

「川のまるごと再生事業」は、当初の目的が達成できるのか

計画を一部変更しながら進める

村田 忠次郎 議員

問 川のまるごと再生事業について目的について改めて問う。

答 「清流の復活」と「やすらぎと賑わいの空間創出」です。

問 当初計画からの変更点は。

答 遊歩道のコース変更、重殿広場(流鏑馬における重要な拠点)の整備取りやめ、鎌倉街道

の歴史道の整備取りやめです。

問 当初の目的達成への見直しについて伺います。

答 県が河川区域内の遊歩道の整備、町は西戸グラウンドのトイレ工事を行います。28年度完成を目標に進めます。

問 鎌倉街道歴史道整備を省いたことは周辺地域にとって重大である。省いた理由は何か。

答 遊歩道は4km、文化財調査に時間がかかるためです。

問 整備できないところは町でやるということでしょうか。

答 遊歩道整備等は観察しながら進めます。

意見 重殿、鎌倉街道歴史道を整備しないでは「やすらぎと賑わいの空間創出」の面で欠けるのではないですか。計画通り実現されなければ目的が達成できないと考えます。当初の目的達成に向けて進めて欲しいです。

問 大雪時の除雪計画について伺います。

答 緊急車両の通行など、県道を含めた幹線道路や緊急輸送道路を最優先する。「雪氷作業計画」を作成して大雪等に備えます。本年は除雪作業の強化を図り、毛呂山町建設業協会以外の建設業者や重機を所有して除雪ができる方へ除雪作業に関わって頂くよう、調整を図っていきます。

問 調整依頼はいつか。12月に行います。



当初計画通りの整備が望まれます

H26年国保加入者	11,968人	介護保険加入者	4,195人
国保均等割	35,000円	介護保険均等割	11,500円
高齢者均等割	7,500円		
7割軽減	2,483人	7割軽減	861人
5割軽減	1,527人	5割軽減	498人
2割軽減	1,535人	2割軽減	431人
合計	5,545人	合計	1,790人
軽減額合計		1億3,015万円	

国保支援で国保税の減額を

バランスをとって運営している

牧瀬 明 議員

問 国保税の法定軽減のH26年度の結果とH27年度の見通しは。

答 国保税の軽減は、世帯の前年中の所得が一定規準額以下の場合に、均等割額の7割、5割及び2割を軽減している。H

27年度は、軽減対象者の拡充のため前年度比3%増の見込みです。対象外で境界線に近いみなさんも生活が苦しいと思います。厚労省は、本年度からの国保財政支援で国保税減額も可能と説明しています。応能原則で国保税を設計したらどうでしょう。

答 町の扶助費、福祉関係費が非常に多く、生活保護の関係も県内3番目に多い。そういうなかで、バランスをとってやってきている。

問 町の扶助費の話が出ましたが、本年度の町の扶助費（社会保障費）は28億円。町への地方消費税交付金は、5億5千100円。

その内、消費税引上げ分は、2億3千900万円、28億円の1割弱です。

引上げ分は社会保障の充実に使うという話でしたが、国は引上げ分の16%しか社会保障に

まわしていません。残念です。国保の話に戻ります。「バランス」といいますが、全国の国保のバランスが悪いから法定軽減をやっている。町も昨年度は1億3千万円の軽減でした。対象にならなかった人もいます。充分ではない。だから厚労省は財政支援で税の減額も可能と説明している。いかがか。

答 平成30年度に広域化をすめる。そういうなかで（公約の）2千円引き下げを来年度からやっていく。

町の財政について

非常に厳しい状況である

高橋 達夫 議員

問 昨年の町の財政力指数は0・627で毎年落ちてきているがその原因は。

答 昨年度の基準財政収入額は微増であったが、需要額で高齢者人口の増加による高齢者福祉費の増加及び消防費の施設整備事業債や臨時財政対策債の償還

額が増加した事などである。

問 仮に町の財政力指数を0・7にするには、私の計算によると町の税収があと3億円増えなければならぬがそれでよいのか。

答 そういう計算になる。税収が3億円増えた時、町の歳入は3億円増えるのか。

問 税収が増えるのと地方交付税が減るので3億円の25%、7500万円だけ歳入増となる。

問 今造成中の東部地区工業団地内に全て工場が進出してきた場合、税収の増は見込めるか。

答 固定資産税（土地、建物、償却資産等）の増が考えられるがとも3億円には届かない。

問 日本の地域番付によれば毛呂山町の完全失業率は埼玉県1位だ。税収増は簡単ではない。

答 日本では無駄をなくし経常収支比率を下げる事だ。経常収支比率が悪くなっている。原因は。人件費は0・7%下がった

が、扶助費、物件費、補助費等が上がった。特に起債（町の借金）の償還額が増えた要因があげられる。

問 人件費が若干下がったと言っても、臨時職員の賃金は物件費に入っている。その物件費が4・8%も上がれば経常収支比率は下がらない。町長は日本の借金時計を見た事があるか。

答 まだ見た事がない。

要望 国の借金は今1分間で4950万円づつ増えている。最小の経費で最大の効果のある予算編成を望む。



12月15日4時現在の日本の借金時計

縁結びレインボーパーティー
恋のかけはし



川越都市圏まちづくり協議会

未婚率の高さは

少子化・人口減少の根幹

町独自開催を検討していく

澤田 巖 議員

- 問** 毛呂山町の未婚率は、行政にまかせる訳にはいかない。他の市町村では民間企業とコラボし独自開催しているが。
- 答** 36%で県内で最も高い。川越都市圏まちづくり婚活事業があるがその成果は。
- 問** 過去4回実施し44組が誕生。
- 答** 毛呂山町の未婚率は、行政にまかせる訳にはいかない。他の市町村では民間企業とコラボし独自開催しているが。
- 問** 少子化対策は町の重要課題と位置づけており、婚活事業も少子化対策の1つと考えている。民間企業や協議会構成市町と連携を図りながら未婚率の高さ解消を図っていく。
- 問** 登校困難者への対応など
- 答** 毛呂山町の未婚率は、行政にまかせる訳にはいかない。他の市町村では民間企業とコラボし独自開催しているが。
- 問** スマートフォンの普及により今やインターネットの時代。もろ丸くん商品のネット販売は。
- 答** 時代に合わせて販売方法である。観光協会と協力して検討していく。
- 問** 教育センターと中学校相談室の相談状況は。
- 答** 最も多い。様々な悩みを抱える児童や保護者に対して、きめ細かく対応していくために関係機関と連携し継続的に相談に応じる。中学校相談室は生徒からの相談件数が多い。スクールカウンセラーや相談員が対応している。
- 問** 「いじめ」が発覚した場合、人事評価に悪い評価がつくのか。
- 答** いじめ防止基本方針を定めており情報を共有している。学校の抱えるいじめの課題を迅速に把握共有、関係各機関と連携して「いじめ」防止・解決に努めていく。

2学期制「検証アンケート」の実施を！

総合的な検証を実施します

岡野 勉 議員

- 問** 「2学期制から3学期制へ」の復活が相次いでいる。県内63自治体で全校2学期制を実施している市町村はどれだけあるか。
- 答** 町で割合は9・5%です。県内63自治体で全校2学期制を実施している市町村はどれだけあるか。導入している自治体は4自治体。何と6%、ほんの一塊（かたまり）に減少している。先日は、小学校、寄居町の中学校、熊谷市、鶴ヶ島市、越生町、毛呂山小学校のみで2学期制を実施している戸田市に問い合わせた所、
- 問** 「中学校は高校受験が控えており、その妨げにならないように配慮している」との回答でした。また、寄居町の中学校に「なぜ中学校のみですか」と問合せたところ「実は来年2016年4月で3学期制に戻します」との回答でした。なぜ、相次いで3学期制に戻しているか。町・教育委員会はどう悩んでいるか。
- 答** 2学期制導入の目的は学びの時間の確保、学校行事・体験学習、教育相談活動の充実。しかし、平成30年度には新たな新学習指導要領の改定があり、気候変動に対する施設の改善が進んでいるものと思います。
- 問** 2学期制は多くの保護者が「慣れない・なじまない」と言っている。本町が2学期制を開始し、来年で10年。早急に児童・生徒、保護者、教職員、町民が主役の公平・公正なアンケートで「検証」すべきです。
- 答** 本町の課題である学力向上、不登校問題の解消に向けても10年間の2学期制の「成果と課題」を保護者、PTA、教職員の意見を広く聴取し、総合的な検証を早急に実施します。



2学期制やはり合わない 相次ぐ「3学期制」復活！

人事

監査委員

田中 基夫 氏

(再任)

毛呂山町長瀬
昭和17年11月生

人権擁護委員

人権擁護委員候補の推薦についての諮問は、全員異議なく適任であるとの答申がなされました。

小室 貴子 氏

(新任)

毛呂山町川角
昭和30年2月生

固定資産評価審査委員会

委員

武野谷博之 氏

(再任)

比企郡ときがわ町瀬戸元上
昭和30年2月生

全員協議会

【11月16日の議題】

- 常任委員会の所管事項及び予算決算の委員会審査のあり方について
- 職員の処分について

【12月1日の議題】

- 毛呂山町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例について
- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 毛呂山町老人福祉センター山根荘の指定管理者の指定について
- 毛呂山町立図書館の指定管理者の指定について
- 毛呂山町都市計画マスタープラン(立地適正化計画)について

議会の動き

- 11月16日 全員協議会
- 11日 町村議会議長会全国大会 (NHKホール)
- 18日 西入間広域消防組合議会議員視察研修 (川島町他)
- 24日 議会運営委員会
- 30日 議会広報研修会
- 12月 1日 } 第4回 (12月) 定例会
~11日 }
- 1日 全員協議会
- 8日 総務文教常任委員会
生活福祉常任委員会
- 17日 入間郡町村議会議長会
- 21日 議会だより編集委員会
- 22日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会視察研修 (川島町)
- 1月 5日 議会だより編集委員会
- 13日 埼玉県町村議会議長会役員会
県と市議会議長会・町村議会議長会との新年懇談会 (知事公館)
- 14日 議会だより編集委員会
- 2月 1日 第91号議会だより発行

次回定例会は3月です。

12月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
12月 1日(火)	1
12月 2日(水)	33
12月 3日(木)	36
12月 4日(金)	16
12月 7日(月)	1
12月11日(金)	0

傍聴席

編集委員

委員長 弓田 茂樹
副委員長 荒木かおる
委員 下田 泰章
委員 平野 隆
委員 澤田 巖
委員 牧瀬 明

アドバイザー

(議長) 堀江 快治

あどがき

海水温が上昇することで、世界的な異常気象をもたらす「エルニーニョ現象」。数年に1度発生すると言われるが、今年はその当たり年で、しかも、その規模は過去最強クラスだとか。

NASA(米航空宇宙局)による発表では「少なくとも普通の冬ではない」。日本国内でも『観測史上』初の文字が連日マスコミ4媒体を飾っている。地球温暖化の原因は二酸化炭素やフロンガスによる温室効果ガスが溜まる一方で自然界ではもう処理が出来ない。暖房設定を数℃下げましょう、もう春はすぐそこですから。

(澤田 巖)